

守山正樹（長崎大学医学部）

デルウイン L. ハーニッシュ（イリノイ大学教育学部）

健康や疾病に関するコミュニケーションは、通常は言語で行われます。しかし人がその言語を理解しないときには、一体どうしたらいいのでしょうか？ 特定の言語を理解することができないのならば、それを理解できる言語に翻訳するというのが、まず考えられる方法です。しかしいくつかの言語への翻訳が終わったとしても、それで問題がすべて解決したわけではありません。さらに多くの課題が待ち受けています。

例えば、東南アジアと南アジアだけで18の国があり、同一国内で複数の言語が使用されている国も多い現状を考えると、言語間の翻訳という方法だけでコミュニケーションを行うことには限界が予想されます。聴力や視力が低下しているために、言語の理解に著しい困難をもつ人々のことも考慮する必要があります。また身体的な機能には問題がなくても、読み書きを中心とした言語教育を受ける機会にめぐまれないままに、コミュニケーションの困難をもつ人々もいます。

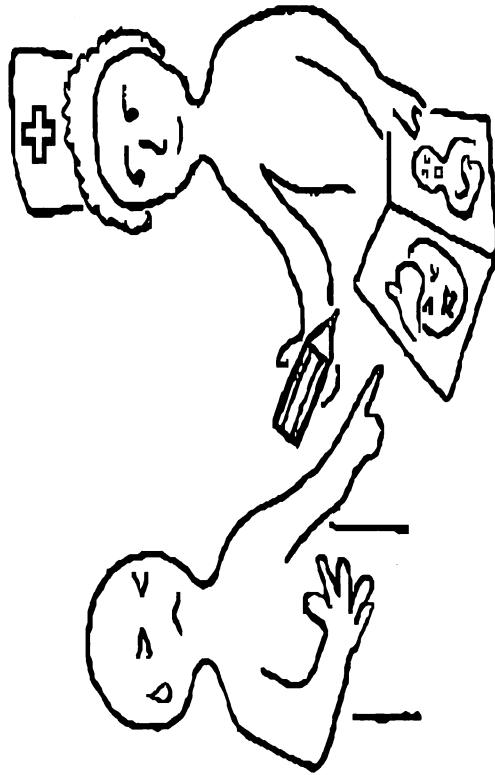
このような言語による医療コミュニケーションの障害を克服するために、ここでは略画によってコミュニケーションを支援するという我々の試みを、以下の項目に沿って紹介します。

1 略画シンボルによる問診表の一例----- 2 ページ

2 略画シンボルをよりよいものにするには？----- 7 ページ

3 略画シンボル研究の背景 ----- 18 ページ

体のぐあいの悪いところを絵で示してください
 Picture Your Discomfort
 用圖畫描述你身體不舒服的地方
 Describa Su Incomodidad
 당신의 신체 중 불편한 곳을 알려 보시다
 Tả cơn đau của bạn

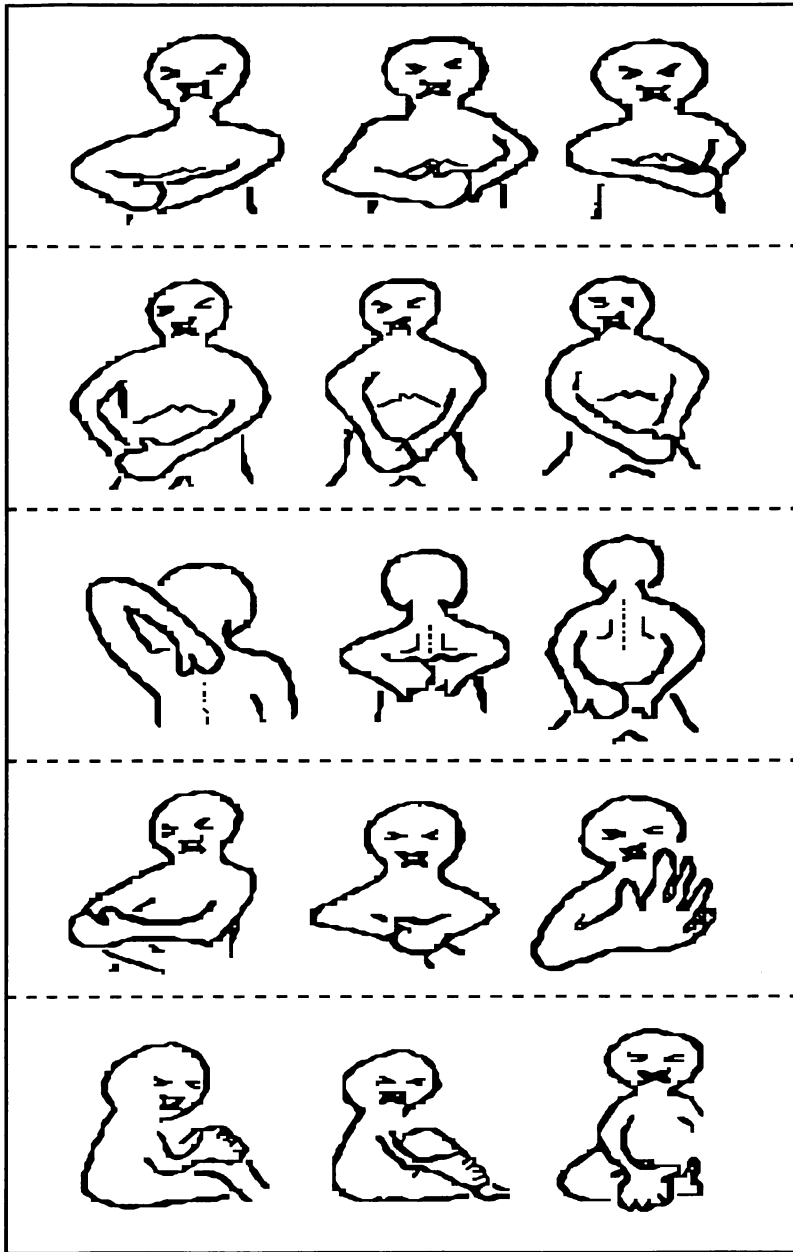


絵を見て、チェックしてください。
 Look over the pictures and check.
 請着下列圖畫，然後指出。
 Mire los dibujos y senale.
 그림들을 보시고, 해당란에 표시하십시오
 Nhìn hình vẽ và ghi

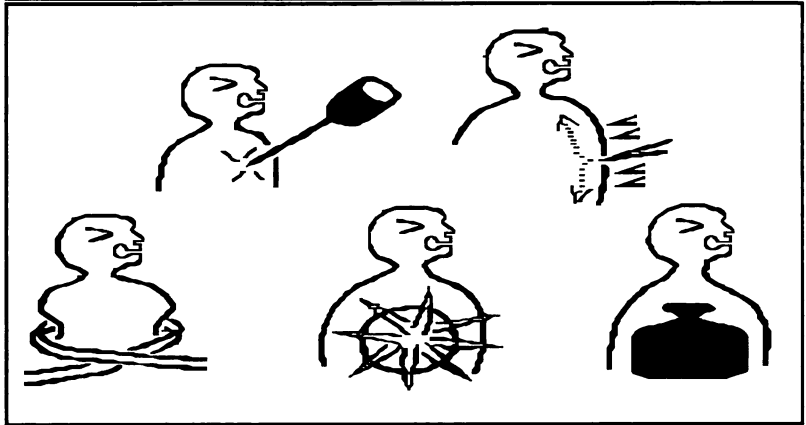


1 略画シンボルによる問診表の一例

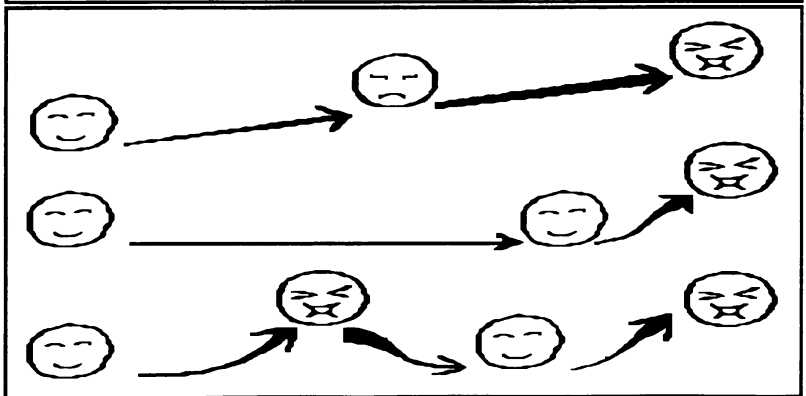
1. ぐあいの悪いところは？
 Which part?
 那一部分？
 ¿Que parte?
 어느 부는 입니까?
 Phần nào?



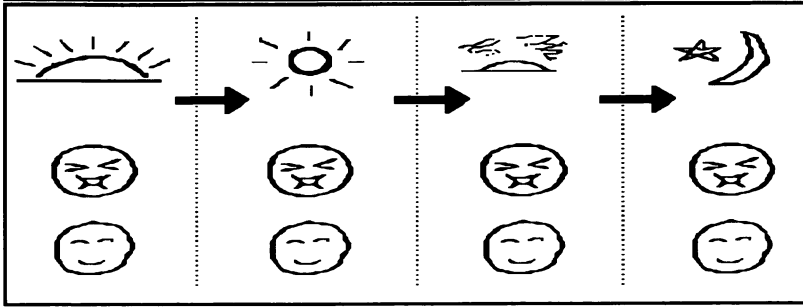
2. どんな痛み?
 What type of pain?
 那一類型的痛楚?
 ¿Que tipo de dolor?
 어떤 종류의 통증입니까?
 Đau kiểu nào?



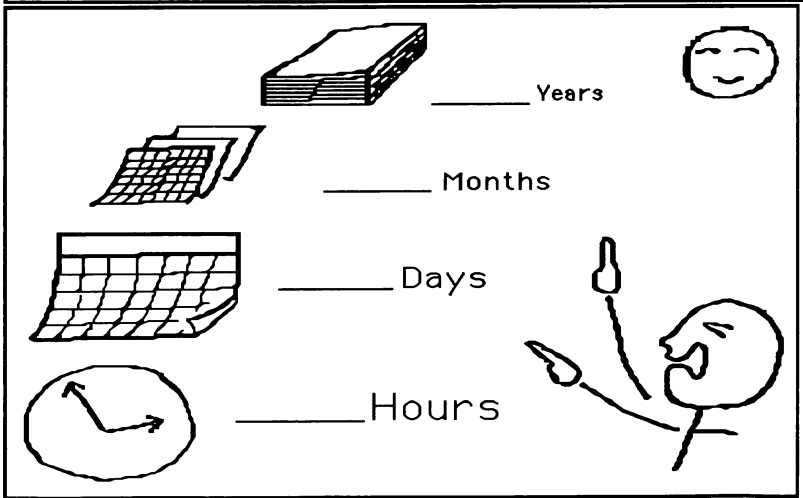
3. ぐあいが悪くなったのは徐々に? 急に?
 Gradual or sudden?
 慢慢的或者突然產生?
 ¿Gradual o repentino?
 점사적인 것인가? 갑작스런 것인가?
 Từ từ hay thình lình?



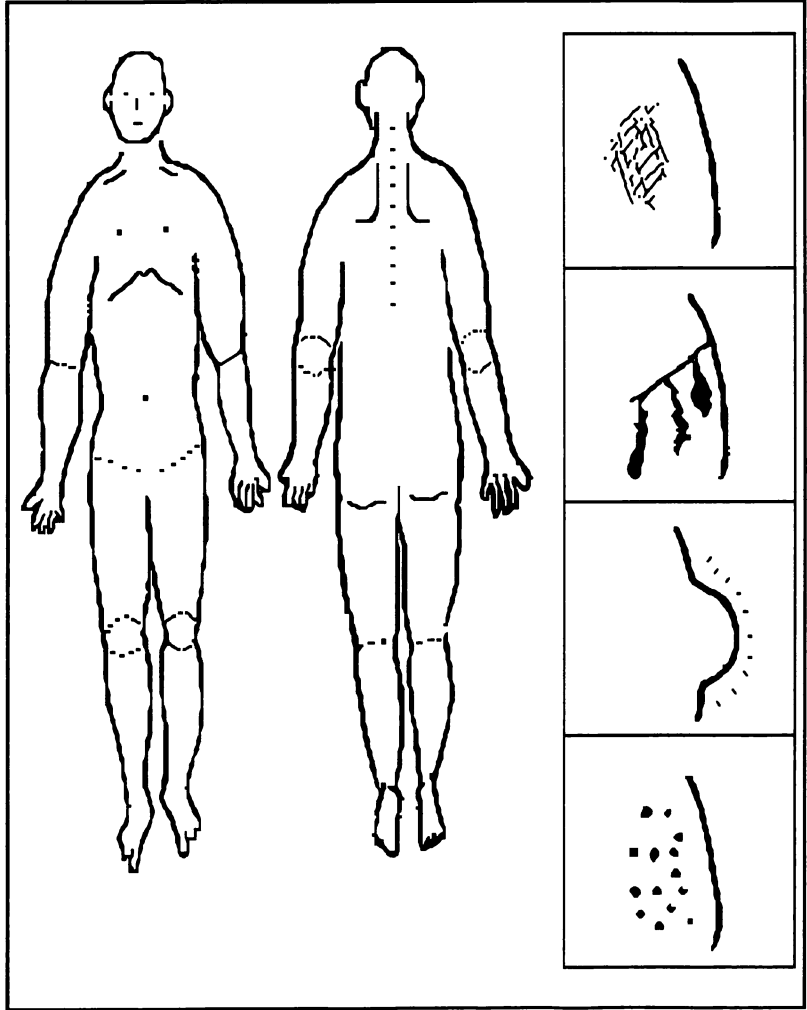
4. 一日のうち、いつ?
 Time of day?
 産生的時間?
 ¿Momento del día?
 하루중 언제에 주로?
 Lúc nào trong ngày?



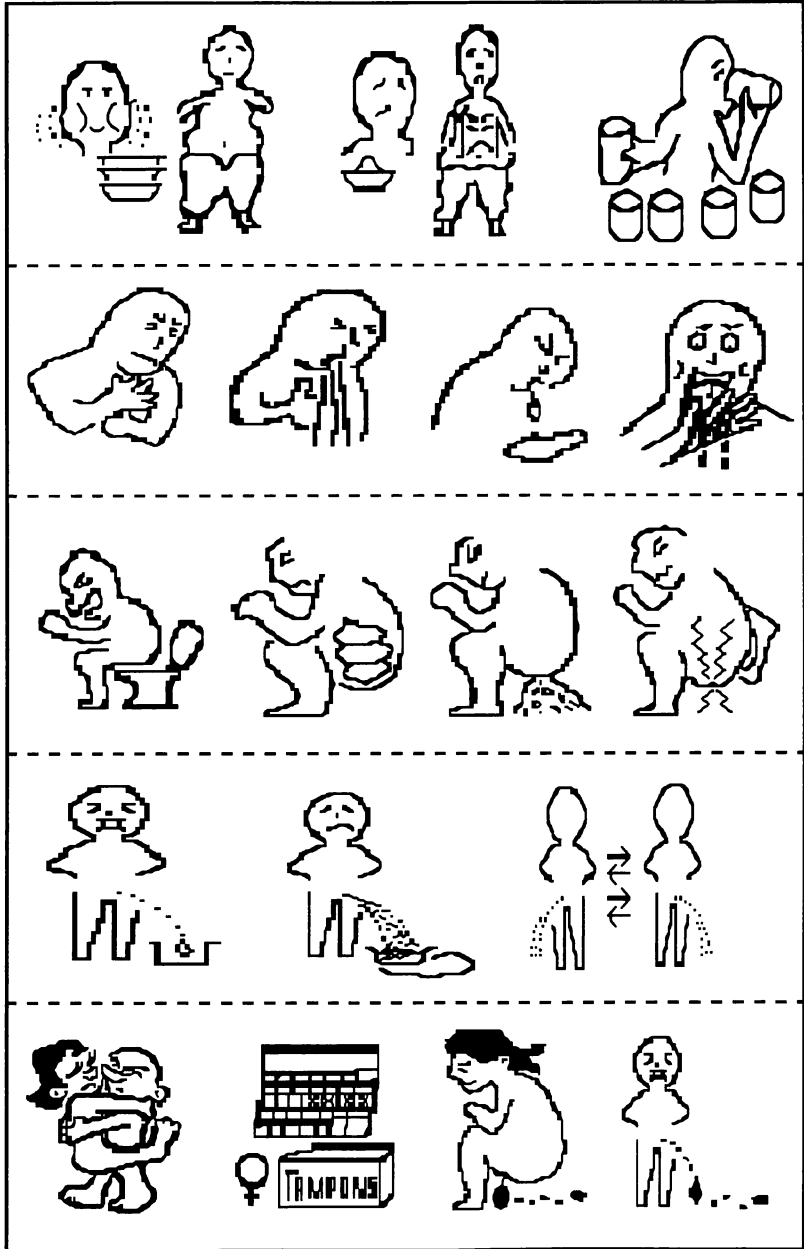
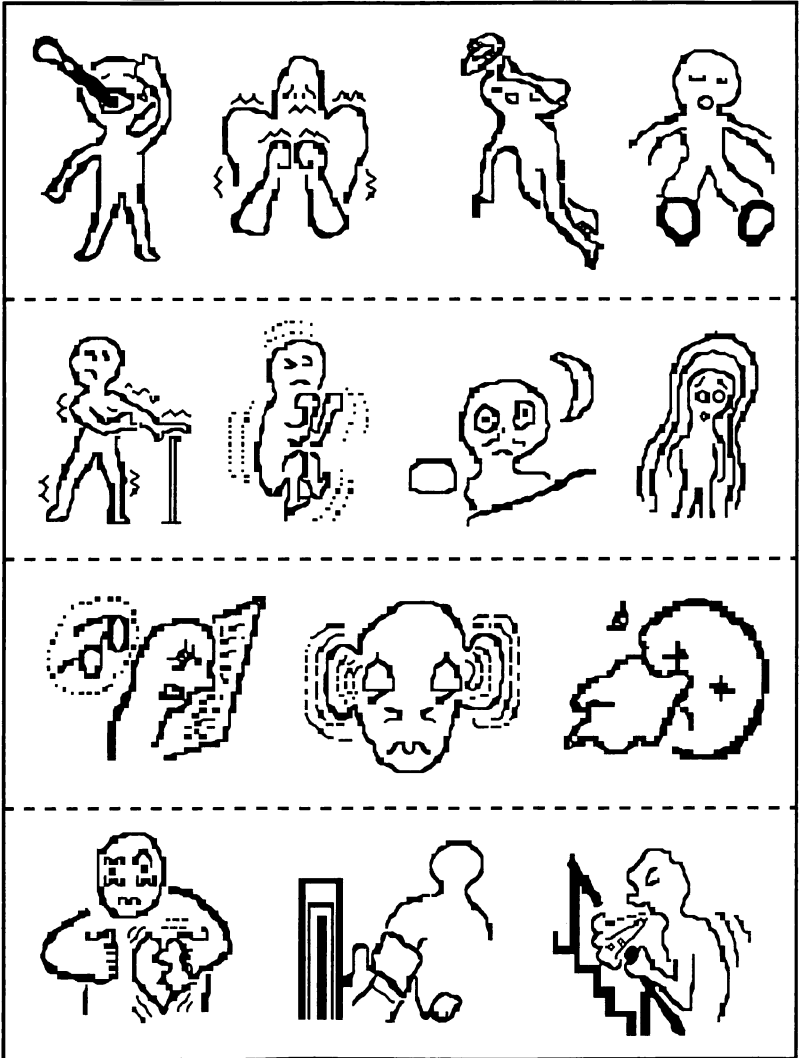
5. 期間は?
 How long?
 持續的時間?
 ¿Cuanto tiempo?
 얼마나 오랫동안?
 Bao lâu?



6. 体の表面の変化は?
 Body surface?
 皮膚表面有沒有變化?
 ¿La superficie de su cuerpo?
 신체 표면은 어떤가?
 Phần nào trên cơ thể?



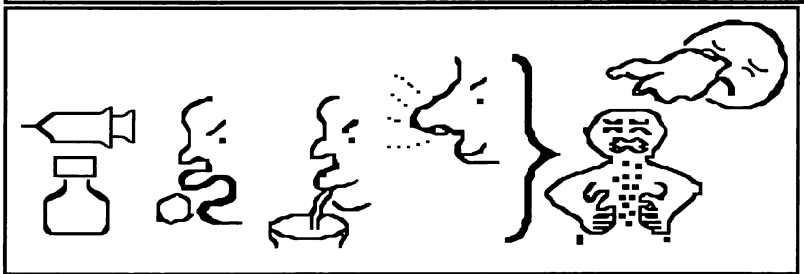
7. 他の症状は?
 Any other symptoms?
 其它症状?
 ¿Otros sintomas?
 다른 증상들은?
 Triệu chứng khác?



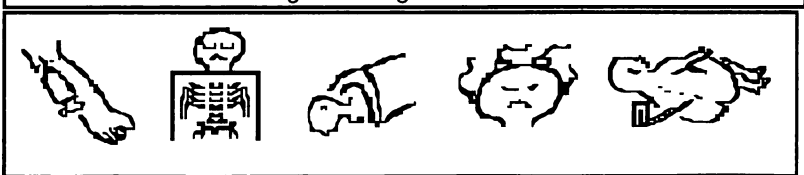
8. タバコ、酒、薬物などの使用は？
 Habits (tobacco, alcohol & drug)?
 有沒有吸煙，喝酒等習慣？
 ¿Habitos?
 아래중습관적인 것은?
 Thói quen?



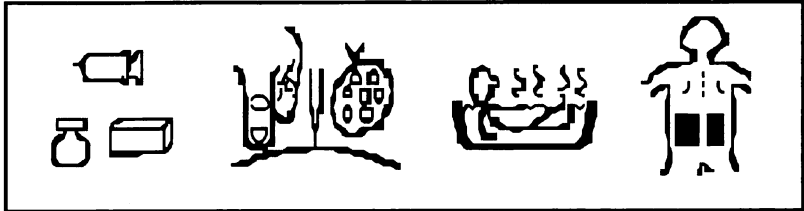
9. アレルギーは？
 Allergy?
 有沒有過敏性反應？
 ¿Alergia?
 알레르기는 가지고 있습니까?
 Dị ứng?



10. 検査を受けたことは？
 Past exam?
 過去曾做過那些檢查？
 ¿Exámenes pasados?
 지난 건강검진은?
 Đã làm thử nghiệm gì?



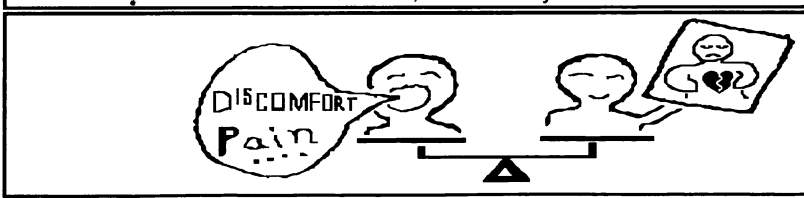
1 1. なにか治療は？
 Treatments?
 試過那種治療？
 ¿Tratamientos?
 치료는?
 Trị bệnh gì?



| | |
|---|--|
| 1 2. あなたの性別？ Your sex? 你的性別？ ¿Su sexo? 당신의 성별은? Giống của bạn? | 年齢？ Your age 你的年齡 Su edad? 당신의 나이는? Tuổi bạn? |
|---|--|



1 3. ことばと絵。よりよいのは？
 Which do you prefer, verbal or visual?
 你比較喜歡那一種表達方法，語言還是視覺？
 ¿Cual prefieres, escrito o visual?
 당신은 말로 하는 것라 보는 것중 어느것을 좋아하십니까?
 Bạn muốn kiểu nào, nói hay nhìn?



2 略画シンボルをよりよいものにするには？

__言語-略画シンボル対照表の活用__

前項では略画シンボルによる問診表の実例を示しました。この実例によって略画シンボルには言語や文化を越えた共通のコミュニケーション手段としての可能性が認められることがご理解いただけると思います。しかしシンボルを言語と同等か、あるいはそれを上回るコミュニケーションの手段として位置付けるためには、さまざまな疑問に答える必要があります。例えば、

1. 自覚症状は何百もあるが、それらをすべて略画シンボルで表せるのか？
2. 自覚症状は本当に万国共通で有り得るのか？ それとも民族や文化によって、理解が異なるのか？、.....等々です。

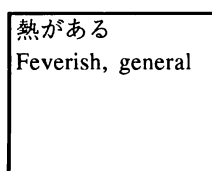
我々は略画シンボルをより良いものにするための努力を続けて来ましたが、しかしこの略画シンボルはまだ未完成で、実用の段階には至っていません。上記の疑問にも十分な答を出せないでいます。その一方、我々にできることには限界があり、それを乗り越えるためには、多くの方々から援助をいただく必要があります。そこでこの項では、略画シンボルに関して皆様からご意見、アイデアを出していただくことを目指した「言語-略画シンボル対照表」を紹介します。この表を活用して読者の皆様がそれぞれの現場での必要に合わせて、言語に対応した適切なシンボルを設定し、更にそれをよりよいものへと改良して下さることを願っております。

「言語-略画シンボル対照表」の説明

言語－略画シンボル対照表は以下の三つの部分から構成されています。

1. 言語による自覚症： 自覚症状をいくつかの基準（例えば、痛みの質、痛みの部位、全身状態、消化器、など）で分類して示してあります。
2. 略画シンボルによる自覚症： 1の言語に対応した略画シンボルによる表現です。言語に比較して、略画は自由度が高いため、何通りもの表現が可能です。ここでは、我々がこれまでの数年間に作成した略画中から2～3個を選んで示します。比較的単純な要素からできている略画は左側に、またより複雑なものは右側に来るように配列を試みました。
3. よりよいアイデア： 読者の方々に自由に活用していただきたい欄です。言葉や略画シンボルを見比べている間に、何か新たな略画のアイデア、発想が湧いてきたらこの欄に記入してください。

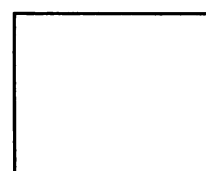
1. 言語による自覚症



2. 略画シンボルによる自覚症



3. よりよいアイデア



「言語-略画シンボル対照表」の使い方

1) 略画シンボルによる表現に慣れ親しむ

一般的な辞書や医学用語集を見れば、自覚症の言語表現を捜すことは容易です。一方、自覚症の略画シンボルはまだ開発の途上であり、実用化された略画の辞書はありません。しかしこの対照表をしばらく眺めてくだされば、主要な自覚症状を絵シンボルとして可視化するとはどういうことかについて概略を知ることができます。

2) 自覚症の意味をより深く理解する

自覚症を言語で表した場合、一応はその意味を理解しているつもりでも、その理解が人によって異なることがあります。このような場合、言語に加えて略画シンボルを使うことで、その言語の意味するものをより正確に理解することが可能になります。

3) 新たな略画シンボルを開発する

略画シンボルを実際に現場で使用してみたいが、すでに示されている略画シンボルだけでは表現が不十分であり、新たなシンボルの開発が必要とされる場合があります。この場合、まったく白紙の状態から略画シンボルを創造することは相当の労力を要しますが、この対照表にあるシンボルをもとに発想してゆけば、容易に新たな略画シンボルのイメージを形成することが可能です。この場合には、表の右端の空欄（よりよいアイデアは？）を活用してください。

4) 医療コミュニケーションを支援する道具として活用する

医療従事者の側にも患者の側にも余裕がある場合には、この対照表を直接に患者さんに見てもらいながら、患者さんが自覚症状をどう認識しているかについて理解を深めることができます。

この対照表は前項で例示した略画シンボル問診表ほど実践的ではありません。時間的な余裕のない場合に患者さんがこの対照表を見ると、例が多すぎて混乱する危険があります。その場合には、この対照表を素材として、そこから一つの症状に対し、一つのシンボルを、というように必要なシンボルだけを抜き出したり、新たなシンボルを付け加えた上で、一覧表、カード、小冊子など現場の必要に見合った使用形態にまとめることをお勧めします。

どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

略画表現 1

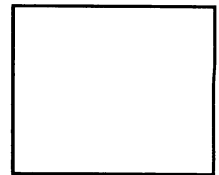
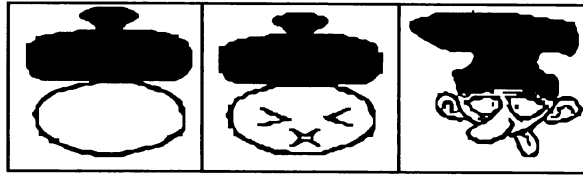
略画表現 2

略画表現 3

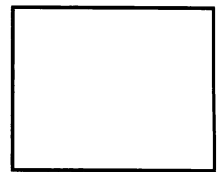
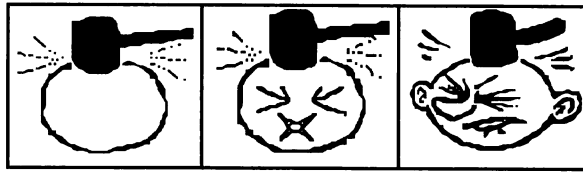
アイデアは？

痛みの質 1
(頭痛)
Pain Quality
Headache

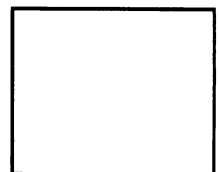
重苦しく痛い。
Dull pain
#011



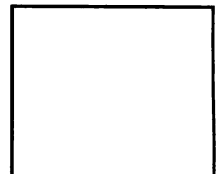
ガンガン痛い。
Bumping pain
#012



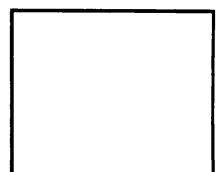
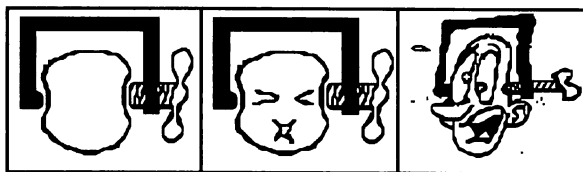
突き刺すように
痛い。
Piercing pain
#013



ヒリヒリ痛い。
Burning pain
#014

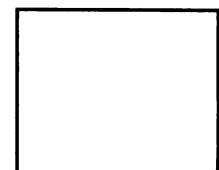
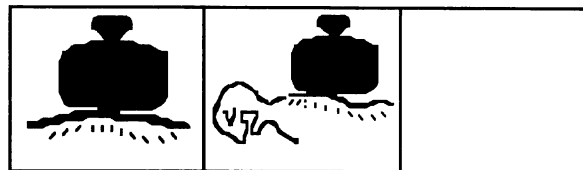


締め付けられる
ように痛い。
Squeezing pain
#015

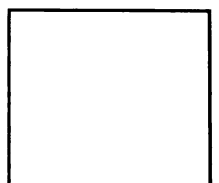
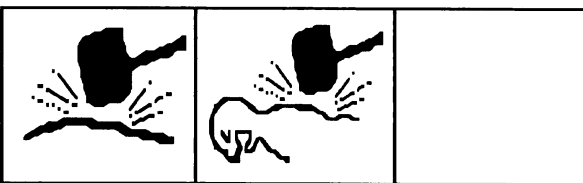


痛みの質 2
(腰痛)

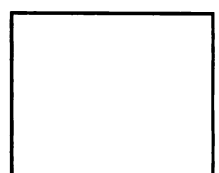
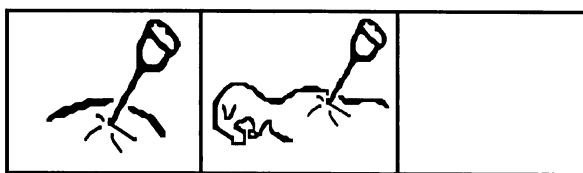
重苦しく痛い。
Dull pain
#021



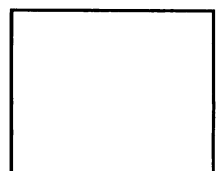
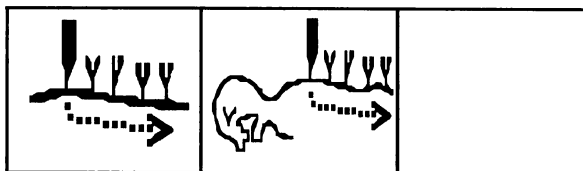
ガンガン痛い。
Bumping pain
#022



突き刺すように
痛い。
Piecing pain
#023



痛みが走る。
Radiating pain
#024



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

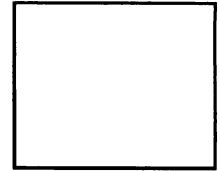
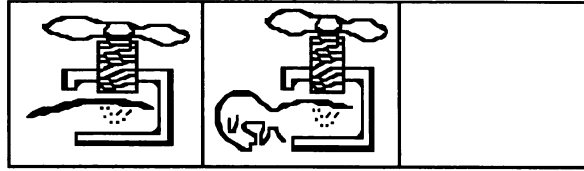
略画表現 1

略画表現 2

略画表現 3

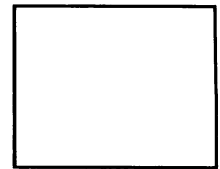
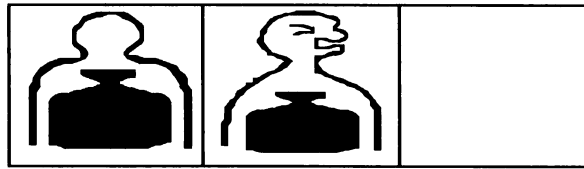
アイデアは？

締め付けられるように痛い。
Squeezing pain
#025

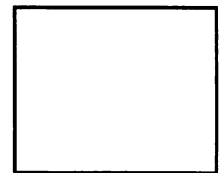
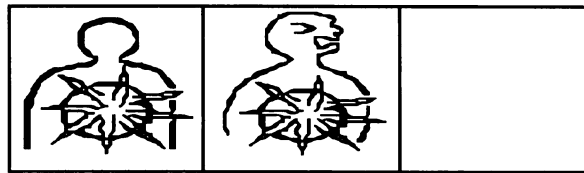


痛みの質 3
(胸、腹)
Thoracic and
Abdominal Pain

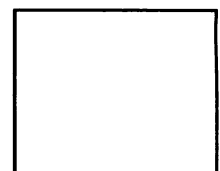
重苦しく痛い。
Dull pain
#031



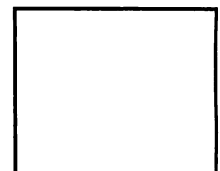
破裂するように痛い。
Bumping,
exploding pain
#032



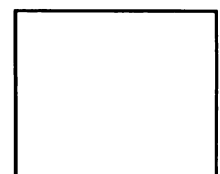
突き刺すように痛い。
Sharp, piecing
pain
#033



痛みが走る。
Radiating pain
#034

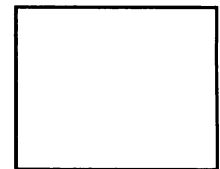
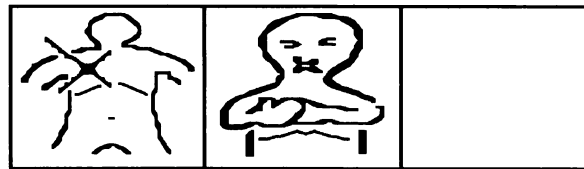


締め付けられるように痛い。
Squeezing pain
#035

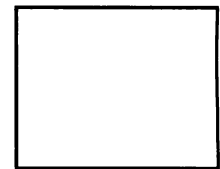


痛みの場所

右胸部の痛み
Right chest pain
#041



左胸部の痛み
Left chest pain
#042



右上腹部の痛み
Upper right
abdominal pain
#043



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

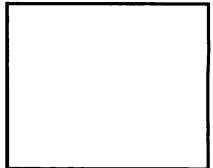
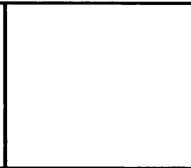
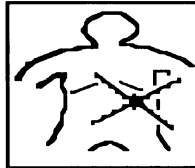
略画表現 1

略画表現 2

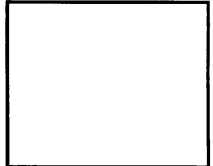
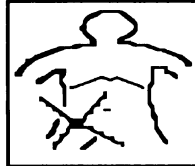
略画表現 3

アイデアは？

左上腹部の痛み
Upper left
abdominal pain
#044

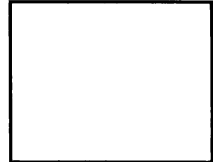
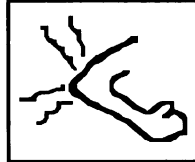


右下腹部の痛み
Lower right
abdominal pain
#045

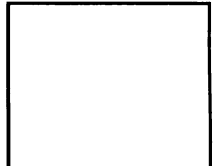
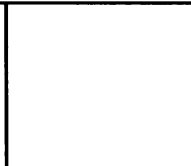


痛みの場所
2
Pain location 2

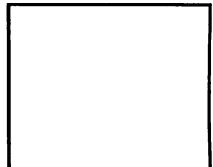
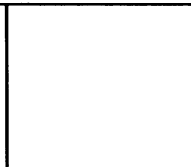
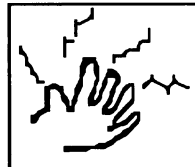
ひじの痛み
Pain at elbow
#051



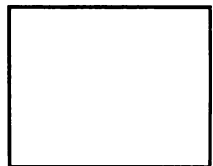
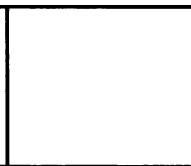
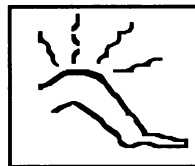
手首の痛み
Pain at wrist
#052



手の痛み
Pain at hand
#053



膝の痛み
Pain at knee
#054



踝の痛み
Pain at ankle
#055



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

略画表現 1

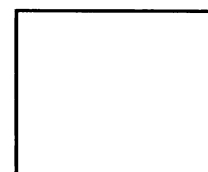
略画表現 2

略画表現 3

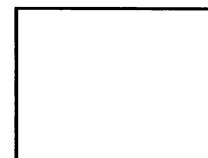
アイデアは？

皮膚、身体
表面

皮膚の変化
はれ
Change of skin;
Swelling
#061



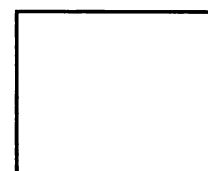
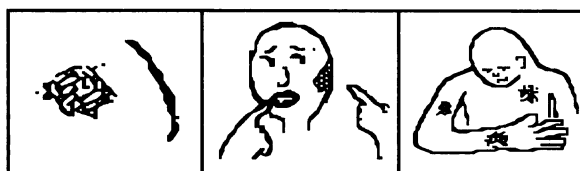
皮膚の変化
ボツボツ
Change of skin;
Spots
#062



皮膚の変化
出血
Change of skin;
Bleeding
#063

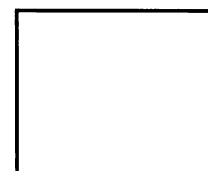


皮膚の変化
発赤
Change of skin;
Reddening
#064

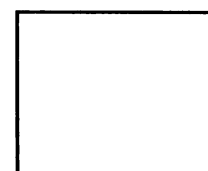


皮膚感覚と
運動制御
Sensory and
Motor Control

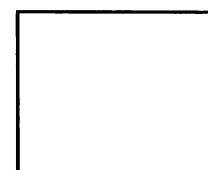
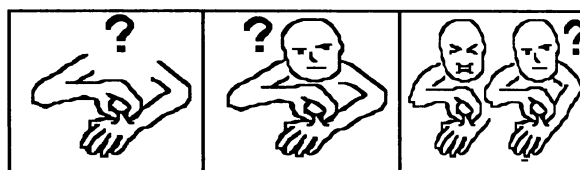
かゆい
Itchiness, general
#071



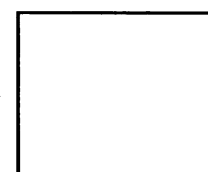
手がかゆい
Itchiness of
forearm
#072



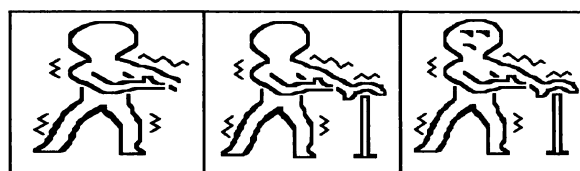
感じない
Loss of skin
sense
#073



上肢のふるえ
Tremor of upper
extremity
#074



体が思うように
動かない
Difficulty of
motor control of
body
#075



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

略画表現 1

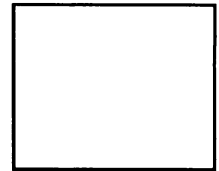
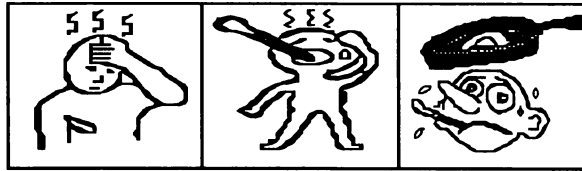
略画表現 2

略画表現 3

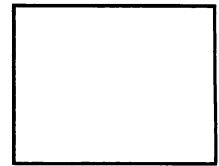
アイデアは？

全身状態 1
発熱と疲労
Fever &
Fatigue

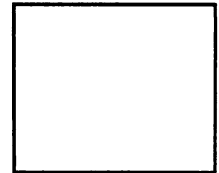
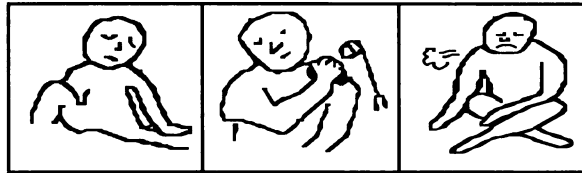
熱がある
Feverish, general
#081



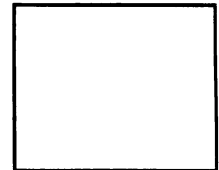
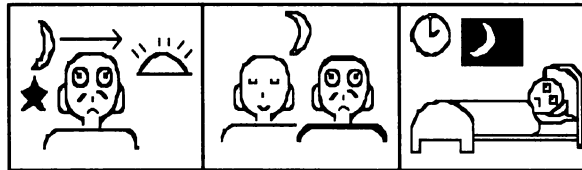
寒気がする
Feeling of a chill
#082



疲れた、だるい
Fatigue
#083

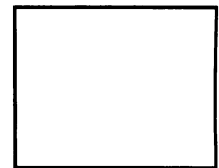
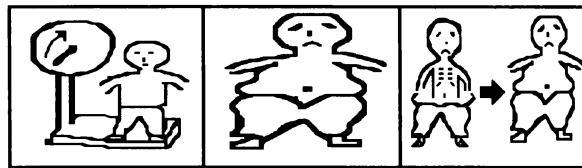


夜ねむれない
Inability to sleep
#084

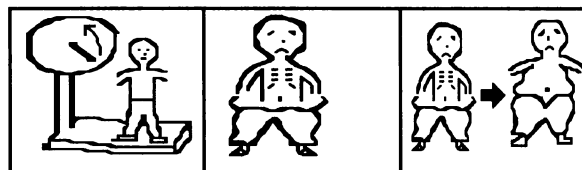


全身 2; 体重
変化, 摂食, 摂水
Weight Change,
Eating, Drinking

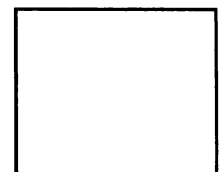
肥満
Overweight
#091



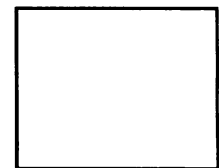
やせ
Underweight
#092



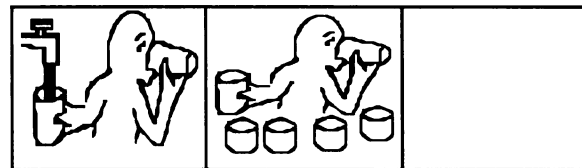
摂食過多
Excessive
appetite for food
#093



食欲不振
Loss of appetite
for food
#094



飲水過多
Excessive
appetite for water
#095



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

略画表現 1

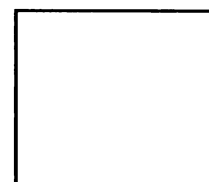
略画表現 2

略画表現 3

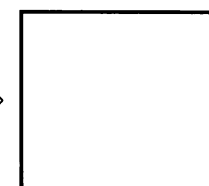
アイデアは？

消化器系;
上部消化管
Upper Gastric
Tract

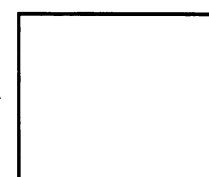
胸やけ
Discomfort of
upper gastric tract
#101



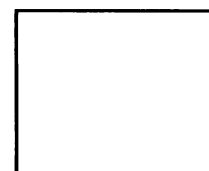
吐き気
Nausea
#102



嘔吐
Vomiting
#103



吐血
Vomiting of
blood
#104

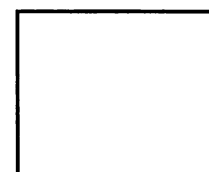


排便
Defecation

排便時の問題
Problems of
defecation
#111



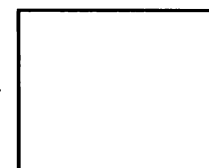
便秘
Constipation
#112



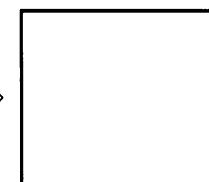
痔の痛み
Pain of anus;
Hemorrhoids
#113



痔の出血
Bleeding from
anus;
Hemorrhoids
#114



下痢
Diarrhea
#115



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

略画表現 1

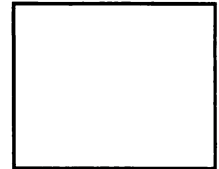
略画表現 2

略画表現 3

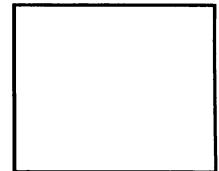
アイデアは？

排尿
Urination

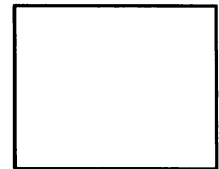
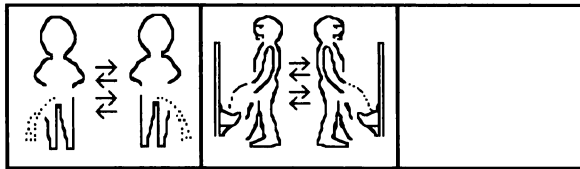
排尿困難
Difficult to urinate
#121



多尿
Too much amount of urine
#122

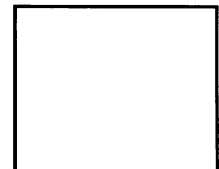
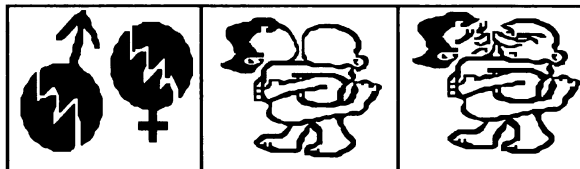


頻尿
Frequent urination
#123

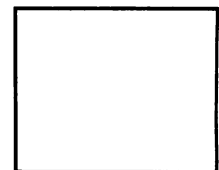
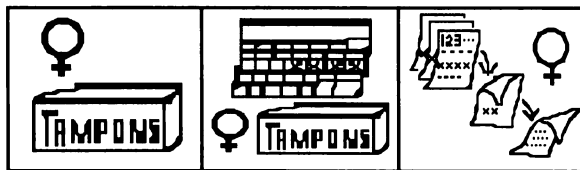


性に関する
問題
Sex related
Problems

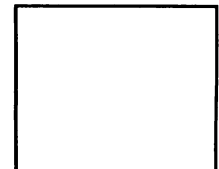
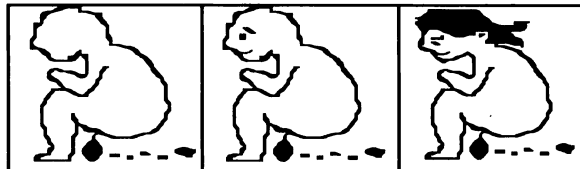
性交の障害
Problems related to sexual intercourse
#131



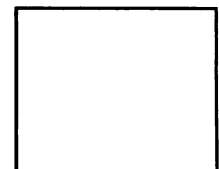
月経の障害
Problems related to menstruation
#132



性器からの出血
(女性)
Abnormal genital discharge
#133

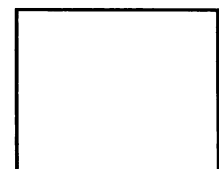


性器からの出血
(男性)
Abnormal genital discharge
#134

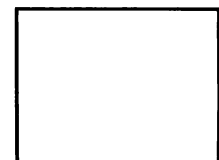


呼吸と循環
Respiration &
Circulation

せき
Coughing
#141



息苦しい
Difficulty of respiration
#142



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

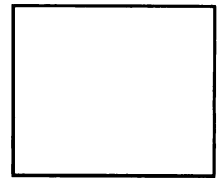
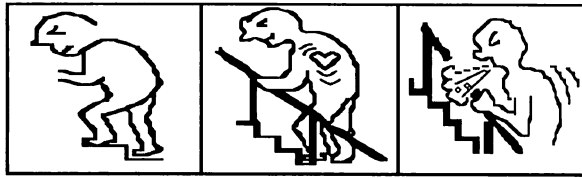
略画表現 1

略画表現 2

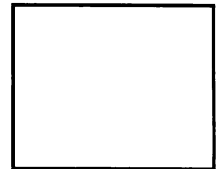
略画表現 3

アイデアは？

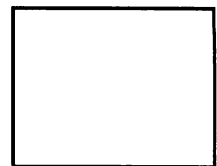
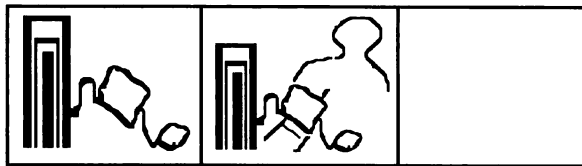
息切れ
Shortness of
breath
#143



動悸
Palpitation of
heart
#144

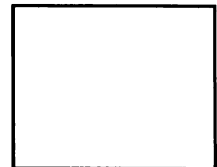
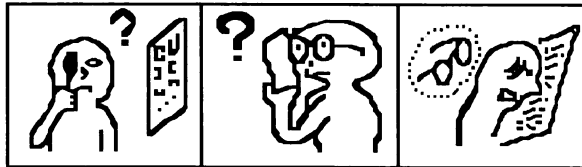


血圧の異常
Problem of blood
pressure
#145

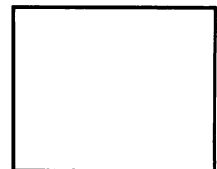


眼、耳、鼻
Eye, Ear &
Nose

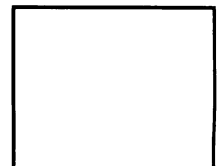
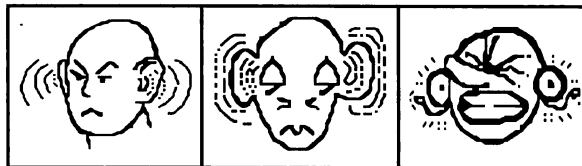
見にくい
Difficult to see
#151



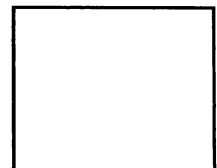
異常なものが見える
Abnormal visual
image
#152



耳鳴り
Ringing in ear
#153



鼻水、鼻からの
分泌
Nasal discharge
#154



どの略画の表現がわかりやすいですか？

よりよい

略画表現 1

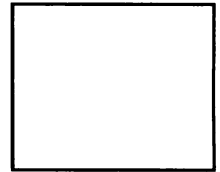
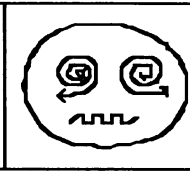
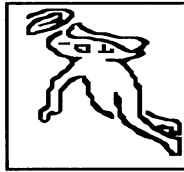
略画表現 2

略画表現 3

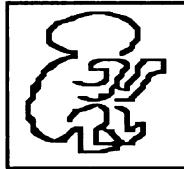
アイデアは？

神経症状
Consciousness
& Emotion

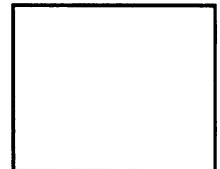
めまい
Dizziness
#161



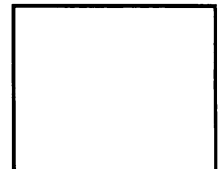
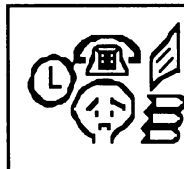
けいれん
Convulsion
#162



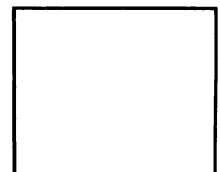
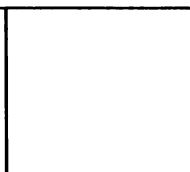
意識喪失
Loss of
consciousness
#163



精神的重圧
Mental or
emotional
pressure
#164



不安、恐怖
Phobia
#165



3 略画シンボル研究の背景

【略画シンボルとの出会い】

健康であることは、人生の主要な価値の一つだといわれます。しかし健康はその個人の内的な状態が関与しているため、それを具体的な形として理解したり、他者に伝えたりするのは、それほど容易なことではありません。ではどうしたらいいのでしょうか。言葉が相手に伝わらない場合、身振りや手振りを交えたり、絵を描いたりして何とか相手に理解してもらおうとすることは、誰でも経験することでしょう。我々は、個人の健康に関連した情報をより判りやすく楽しく示すことを目的として、数年前から図や絵の活用を検討しはじめました¹⁾。例えば顔グラフは、数値を顔の造作にわりつけて表示するため、健康診断の結果などを親しみやすくするのによい方法です。しかし、自覚症状などの主観的な情報を判りやすくするには、グラフよりも絵の方が良さそうです。このような経緯で略画シンボルによる健康状態の可視化の研究を始めました。

【なぜ素人が描くのか？】

我々は略画シンボルの検討を始めた当初、描くことは専門的なイラストレーターにまかせるつもりでした。しかしイラストレーターの略画はきれいではあっても自覚症という内的な状態を可視化する点では不十分でした。そこで我々自身で描くことを始め、どうすれば正確に描けるかを考え続けました。そして「いかに描くか」を研究することが、健康についての理解を深め、コミュニケーションを促進させるために有用な方法であることに気づきました²⁾。

【長崎での聴覚障害者コミュニケーション支援】

略画シンボルの開発は、長崎の聴覚障害者が抱える受療時のコミュニケーションの障害を解決する一つの方法として位置付けられ、長崎大学医学部で教官と学生とが協力して行う社会医学実習（1988、89年度）を通して具体化されました。著者らは学生と共に自由連想によって一般的な自覚症状の可視化を目指しました。出来上がったシンボルについては、大学の同僚や長崎県ろうあ福祉協会の方々から意見を聞き、それを参考に作画と改良を行いました²⁾。

【米国イリノイ大学で継続した略画シンボルの開発】

略画シンボルの多くは長崎での仕事が多くなっていますが、この原稿に示した形でまとめることができたのは、著者らが米国イリノイ大学で行った共同研究のおかげです。イリノイ大学の教育学部と保健学部を舞台として進めた略画シンボルの開発では、最初にアメリカ人に比較的多い健康障害として「頭痛」をとりあげ、次に「腰痛」、さらに一般的な「苦痛」といった順番で、「痛み」に焦点を当てて自覚症の可視化を進めました³⁾。

【謝辞】

この原稿は二人の著者が中心になってまとめましたが、略画シンボルの開発に当っては長崎大学と長崎市を中心とした地域社会の方々、米国イリノイ大学とアーバナ市を中心とした地域社会の方々のお世話になりました。御礼申し上げます。

この原稿は著者の一人である守山が1992年9月18日にイリノイ大学のコロキウム(Externalization, Visualization and Communication of Medical Symptoms)で発表した論文と資料の日本語訳がもとになっています。原稿の転載を快諾して下さったイリノイ大学に深謝致します。

【参考文献】

- 1) 守山正樹、松原伸一 (1991) 対話からの地域保健活動-健康教育情報学の試み、篠原出版、1-218
- 2) 守山正樹、他 (1991) シンボルによる自覚症問診システムの試み-聴覚障害者の社会適応促進をめざして、電子情報通信学会技術研究報告、ET91-65, 83-90.
- 3) Moriyama, M. and Harnisch, DL (1992) Use of visual symbols to promote communication between health care providers and receivers. Paper presented at American Educational Association, San Francisco

【読者の皆様へ】

自覚症の略画シンボル表現はまだ不十分で試行的なものであります。皆様の御意見、御助言をいただいた上でよりよいものを目指したいと考えております。皆様からのご連絡をお待ちしています。

【連絡先】

守山正樹
長崎大学医学部衛生学教室
〒852 長崎市坂本1-12-4
Tel. 0958-47-2111 内線2221
Fax 0958-46-7128